

2月／コミュニティ・エンパワメント



女性の参画についての話し合い



コミュニティ会合

スマラン市の最初の植林地であるタパック村では、マングローブ保全管理が定着し、今後は活動の自立化を目指していきます。コミュニティ全体での保全活動への協力を強化するため、女性の参画やコミュニティの自立した保全管理方法を話し合っています。

3月／プカロンガン市での植林セレモニー



セレモニー開会式



市長による記念植樹

新しい植林地での植林開始を記念して、プカロンガン市長も参加した植林セレモニーを開催しました。

8月／マングローブ植林地の造成(スマラン)



海面上昇により使えなくなってしまった魚の養殖池を造成し、マングローブの植林地を確保しました。

【写真】使えなくなった養殖池

9月／漁村女性グループのエンパワメント(スマラン)



海面上昇による養殖池の縮小が及ぼすコミュニティへの経済影響を少しでも減らすため、女性を中心としたグループにマングローブの森を保全しつつ収入向上を目指したエンパワメント研修を実施しました。

【写真】海産物の加工品販売など、アイディアを出し合う女性たち

9月～10月／マングローブの苗床づくりと植林(プカロンガン)



苗床の準備をする女性たち



植林作業を手伝うボーイスカウトの少年少女たち

コミュニティが中心となって植林地の計画から準備を行いました。植林には、地元のボーイスカウトも参加しました。

10月／スマラン市長による植樹(スマラン)

スマラン市長も活動地への植樹を行い、行政も活動地の保護に関心を高めています。



植樹に参加するスマラン市長



マングローブ・エデュケーションセンター設置のために話し合うコミュニティと行政職員



カラガニャール村(スマラン)の苗床

11月／カラガニャール地区で植林(スマラン)



昨年蟹による食害被害を受けたカラガニャールの川岸での植林ですが、今年は蟹除けの工夫も施して再挑戦しました。

【写真】住民による植林活動